



7月28日(火)に開催されました第174回組合会において、令和元年度の決算が可決承認されましたのでその概要をお知らせします。

令和元年度 決算のポイント

前期高齢者納付金の減少により黒字決算

決算概要

皆さんの毎月の給与や賞与から納めていただいた保険料収入は、被保険者数の減少等により前年度より9,248万9千円減収の28億3,603万2千円となりました。

支出では、皆さんの医療費などに充てられる保険給付費は前年度より1億858万円増加し13億2,012万3千円となりました。

高齢者医療を支えるために支出する納付金は、前年度より前期高齢者納付金が2億7,695万8千円減少、後期高齢者支援金は横ばい状態で、令和元年度は全体として10億9,375万6千円を拠出しました。

保健事業費には2億2,611万8千円を支出し、各種検診や保健指導、Smart Life Pointの継続実施など、皆さんの健康づくりをバックアップする事業を積極的に実施しました。

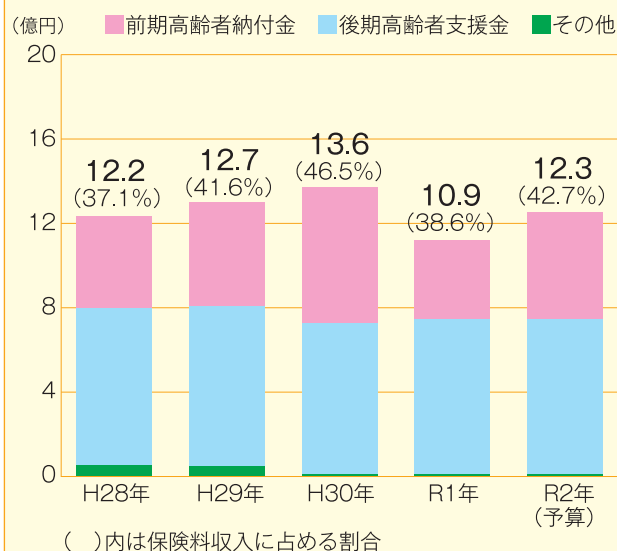
令和元年度は、保険料収入の減少と保険給付費の増加を納付金の減少で補うかたちになりました。収支差引額で9億9,520万7千円の黒字、財政の健全性を示す経常収支差引額で見ても、1億3,246万6千円の黒字決算となりました。

健康保険組合を取り巻く状況

健康保険組合の財政を圧迫している大きな要因は、高齢者医療費の多くを納付金として負担しているためです。当組合において令和元年度は、前期高齢者納付金が大幅に減少したことにより黒字決算となりましたが、令和2年度予算では再び増加すると試算されています。このまま保険給付費と納付金が増加し続ければ、再び赤字に陥ることも考えられます。

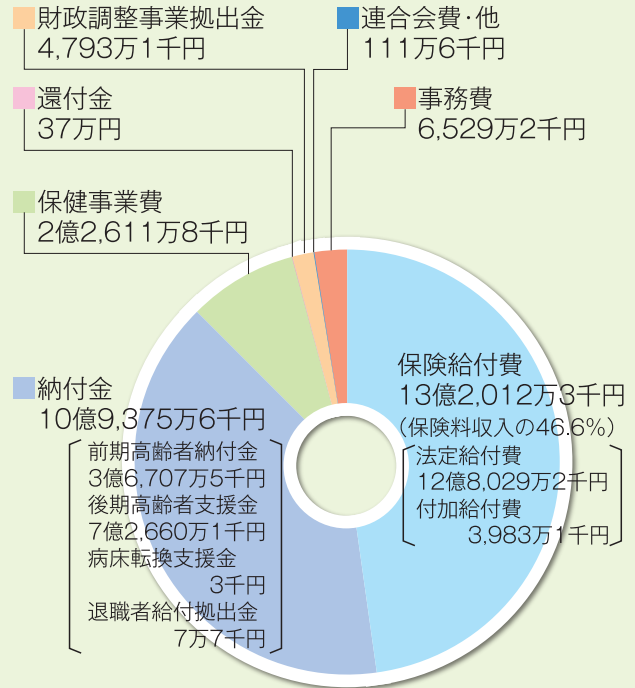
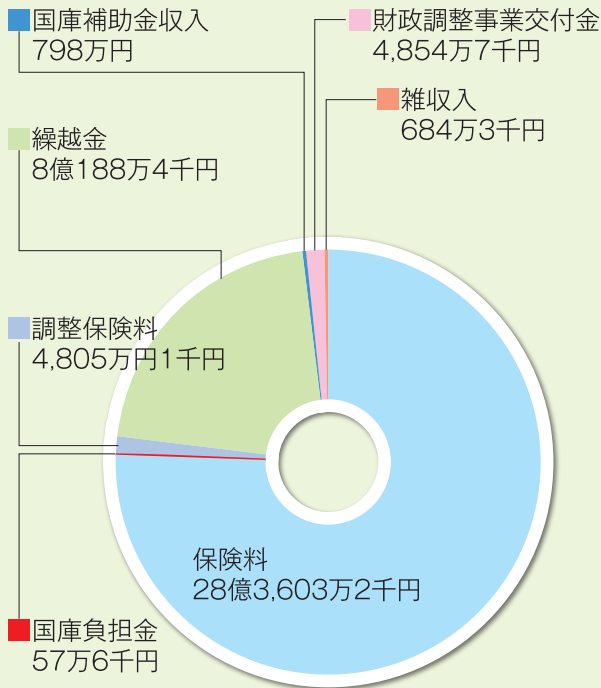
健康保険組合としましては、事業の効率化を図ると共に、皆さんの健康増進施策に力を注いでまいります。皆さんにおかれましては、各種検診などの保健事業を積極的に活用し、健康の維持・増進にお役立ていただくとともに、適正受診をこころがけ、医療費の削減にご協力いただきますようお願いいたします。

当健康保険組合の納付金の推移



収入合計 37億4,991万3千円

支出合計 27億5,470万6千円



令和元年度
決算額

収入合計	37億4,991万3千円
支出合計	27億5,470万6千円
収入支出差引額	9億9,520万7千円
経常収支差引額	1億3,246万6千円

健康
保険

決算基礎数値

被保険者数	3,968人 (男性 2,961人 女性 1,007人)
平均年齢	44.40歳 (男性 45.20歳 女性 42.06歳)
被扶養者数	5,299人
前期高齢者加入率	0.564850%
保険料率 (調整保険料率含む)	83.00/1000 (事業主 51.00/1000 被保険者 32.00/1000)

介護
保険

決算基礎数値

介護保険第2号 被保険者たる被保険者数	2,634人
介護保険料率	12.00/1000 (事業主6.00/1000 被保険者6.00/1000)

決算の概要

(単位:千円)

収入	科目	決算額
	介護保険料	315,696
繰越金	47,730	
合計	363,426	

支出	科目	決算額
	介護納付金	331,848
介護保険料還付金	54	
合計	331,902	